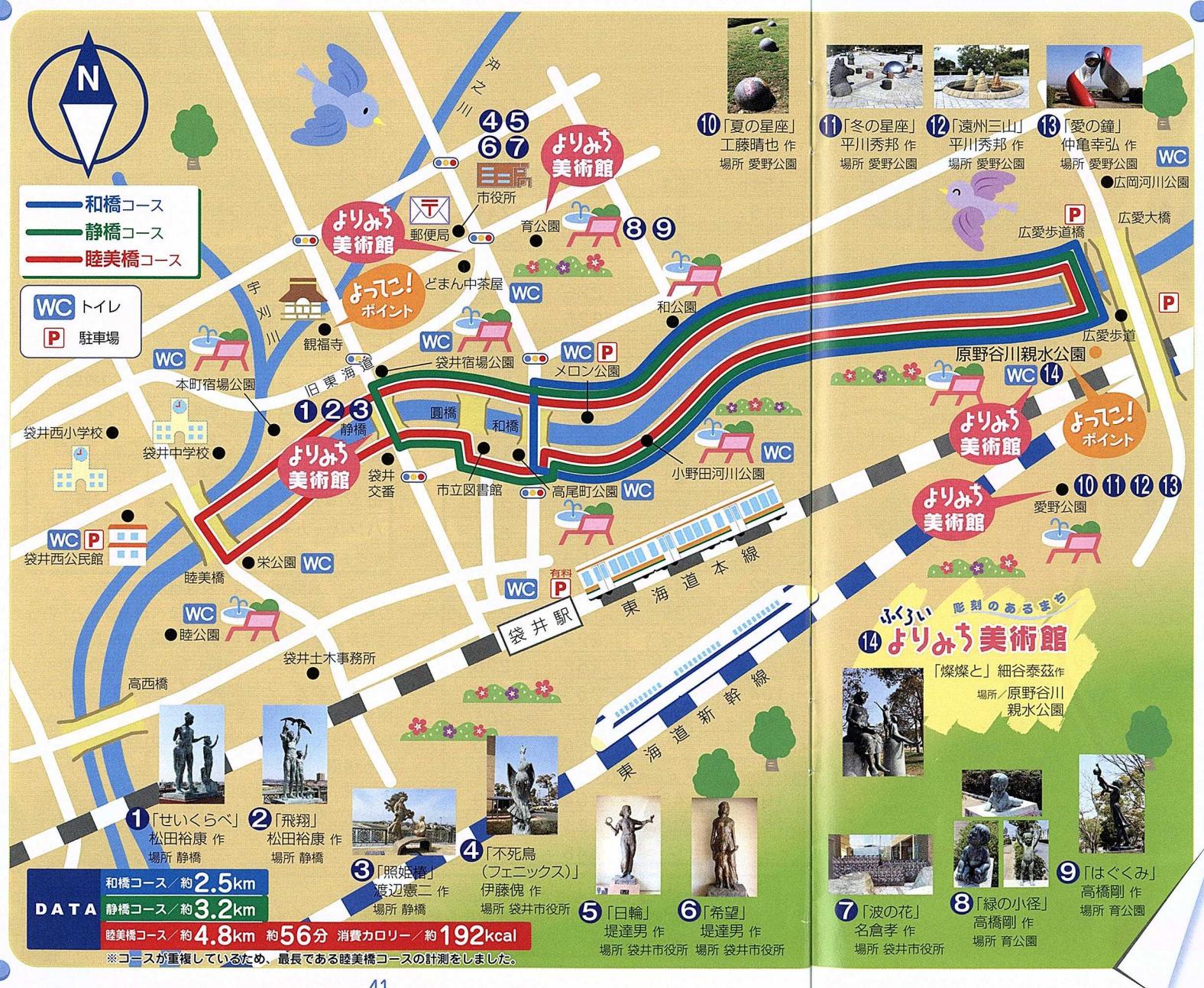


NO.15

水面の輝きはふくろいの未来を映し出す

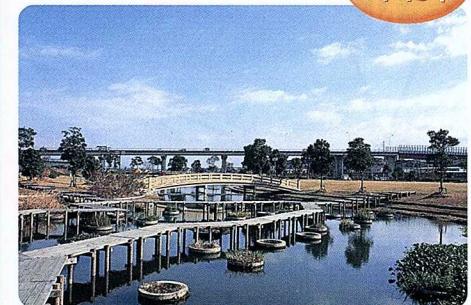
原野谷川水辺の路



市の中心部を流れる原野谷川は、市民の憩いの場として古くから親しまれて来ました。

休日ともなると、親水公園や愛野公園は家族連れて大いに賑わいます。また親水公園を舞台に行われる『ふくろい遠州の花火』は、日本十大花火のひとつにも数えられ、ふくろいの夏の風物詩として広く知られています。

よっし！
ポイント



原野谷川親水公園

子供のイカダ遊びができる冒険の池。水辺の観測ができる水性植物生態園、全面芝生の多目的広場、ちびっこ広場。1日中楽しむことができる。



観福寺（へそ寺）

曹洞宗の寺院として寛永8年(1631)に活峰宗達和尚が可睡齋の等贊和尚を招き開山したのが始まりとされています。東海道どまん中「袋井宿」の真中に位置するため「へそ寺」と愛称がつきました。

ふくろい 形刻のあるまち
14 よりみち美術館

「燐燐と」細谷泰茲作
場所／原野谷川
親水公園



7 「波の花」
名倉孝 作
場所 袋井市役所

8 「緑の小径」
高橋剛 作
場所 育公園

9 「はぐくみ」
高橋剛 作
場所 育公園

